【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2003-232416(P2003-232416A)
【公開日】平成15年8月22日(2003.8.22)
【出願番号】特願2002-33483(P2002-33483)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｈ　15/38
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｈ　15/38

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月9日(2004.11.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　前記駆動軸８と上記出力歯車１６との間の変速比を変える場合には、図示しないアクチュエータにより上記各トラニオン２２、２２を、図６の表裏方向に変位させる。この場合、図６の上半部のトラニオン２２、２２と下半部のトラニオン２２、２２とは、互いに逆方向に、同じ量だけ変位させる。この変位に伴って、上記各パワーローラ２０、２０の周面２１、２１と上記入力側、出力側両内側面３、１８との当接部の接線方向に加わる力の向きが変化する。そして、この接線方向の力によって、上記各トラニオン２２、２２が、それぞれの両端部に設けた枢軸を中心として揺動する。この揺動に伴って、上記各パワーローラ２０、２０の周面２１、２１と上記入力側、出力側両内側面３、１８との当接部の、これら両内側面３、１８の径方向に関する位置が変化する。これら各当接部が、上記入力側内側面３の径方向外側に、上記出力側内側面１８の径方向内側に、それぞれ変化する程、上記変速比は増速側に変化する。これに対して、上記各当接部が、上記入力側内側面３の径方向内側に、上記出力側内側面１８の径方向外側に、それぞれ変化する程、上記変速比は減速側に変化する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
　上述の様に構成する本例のトロイダル型無段変速機の場合には、上記入力回転軸１の雄ねじ部３１との螺合・緊締に基づいて上記ローディングナット９ｂに加わる荷重の作用位置と、上記皿板ばね１０からこのローディングナット９ｂに加わる荷重の作用位置とを、軸方向にずらせる事ができる。即ち、上記螺合・緊締に基づく荷重は、前述した通り、上記雌ねじ４１の先端部、即ち、図１～２の左端部で大きくなる。これに対して、上記皿板ばね１０から加わる荷重の作用位置は、この皿板ばね１０の軸方向長さに対して、上記間座３８の軸方向長さ分だけ、上記雌ねじ４１の先端部から離れる。即ち、上記皿板ばね１０からの荷重は、上記ローディングナット９ｂの軸方向中間部後端寄り（図１～２の右寄り）部分から上記先端部に掛けての広い範囲に加わる。